

# 南ユタ大学短期研修報告書

北海道教育大学函館校  
地域協働専攻 第3学年  
松本 紗季

## 1. はじめに

私は平成29年8月28日～9月17日に実施された南ユタ大学短期研修へ参加して参りました。今回の短期留学は自分にとって2度目の経験だったこともあり、初めて海外留学をする人よりも不安や緊張は少なかったのではないかと思います。南ユタでは、生涯記憶に残る多くの貴重な経験を得ました。もちろん、その中には楽しいことのみならず、慣れない土地での困難もありました。私が今回の短期研修で経験したことを、この報告書でお伝えしたいと思います。

## 2. 研修前

私は以前より南ユタ大学短期研修に参加する予定でいました。そのため、研修参加希望者が参加登録をする期日について前もって学校に確認をしていました。しかし、やり取りが上手く行かず期日を知るのが遅れてしまったため、参加者の提出する書類の準備を慌ただしくすることになってしまいました。次回研修に参加することを考えている方は、研修の情報について掲示板などで日々確認しておくことを勧めます。また、南ユタ大学側へ提出する書類ばかりではなく、個人の荷物の準備などにも時間がかかるので、前もって準備を始めておくと余裕があつていいと思います。

## 3. 南ユタでの生活

南ユタ大学のあるシーダーシティは、田舎でのどかな町です。人々は自由な生活をおり、私の印象では日本人よりもアウトドアで山や川などへ遊びに行く人が多かったです。研修のプログラムでは、ブライスカニオン国立公園へハイキングに行きました。日本とは気候が異なるため、私たちの普段見る景色とは全く違うものを観ることができました。

南ユタは雨が少なく、非常に乾燥しています。そのため、私を含めたほとんどの研修生は南ユタに着いてから数日の間に風邪をひきました。研修の期間を健康に過ごすために、飲みなれた風邪薬や自分に合ったマスクを持って行くことを強く勧めます。また、ホームステイ先に加湿器があれば借りることもできたので、乾燥で体調を崩す前に借りることができるか確認しておくといいと思います。

#### 4. 南ユタ大学での授業

大学で受ける授業は、毎日9時から17時まで行われました。午前中は、南ユタ大学の教授による教育学に関する内容が主でした。教授は、他に出会うアメリカ人に比べて私たちのためにゆっくりした英語を話してくれましたが、教育学に関する用語を使用することなどから内容を聞き取ることが難しいこともありました。わからないことがあったら、すぐに質問して解決するようにしました。授業に関して不満に思ったことは、期日を設けて出された宿題を時間をかけてやったにも関わらず、取り扱わなかったことです。私たちは、現地の文化を学ぶため学校の他にもホームステイファミリーと過ごす時間が必要でした。研修は限りある時間の中で行われているので、学生への考慮が必要であると感じました。また、宿題をするにあたりパソコンを持っていることは必須条件であると感じました。私は携帯しか持参していなかったため、宿題に取り組むのにすごく苦勞しました。次回の参加者は、パソコンを持っているととても役立つと思います。

午後は、プログラムコーディネーターたちと小学校や先住民族のもとを訪れてプレゼンテーションをするなど活動的な内容でした。午後の活動について予定が変更となった際、学生への知らせがなく困惑することもありましたが、現地にいる様々な人々と関わりを持つことができた午後の活動は、とても有意義な体験となりました。

#### 5. さいごに

私が今回の研修で最も楽しかったことは、ホームステイファミリーと過ごす時間でした。私が滞在させてもらった家族はホームステイの受け入れが初めての家族でしたが、家族で過ごす時間と私のプライベートな時間を常に考慮してくれるとても親切な家族でした。彼らのおかげで、快適なアメリカ生活を送ることができました。ホームステイファミリーをはじめ、共に研修に参加した仲間や現地で出会った人々、援助をして頂いたすべての方に感謝します。



ブライスキャニオン国立公園



アメリカの妹たちと喜んでくれたお土産



3週間を共に過ごした仲間